

概要

本開発は2012年度から岩手大学地域防災研究センターの研究プロジェクトとして行っています。また、株式会社ゴーイング・ドットコムと岩手大学とでは共同研究を締結しており、アプリケーションのプログラミング等をゴーイング・ドットコムが担当しています。

この防災アプリケーションの主な特長は下記の2点です。

- 1) 観光客が地方で津波警報と遭遇した時に「どちらの方向が高台なのか」を最初に知ることが出来ます。
- 2) 危険な地域（いてはならない場所）には行かせないように、危険な地域をピンク色で示しています。

この2点は他地域で行われている防災ナビゲーションとは大きく異なるポイントです。

あくまでも「避難は自分の責任で」という助かるための本質を忘れないで行うことが重要ですので、カーナビのような避難所をゴールとしたナビゲーションの方式はとっていません。（下図のように最初の開発から変更した）



最初の開発での避難画面



現在の避難画面

開発経緯メモ

岩手大学と株式会社ゴーイング・ドットコムとは震災前からスマートフォンのアプリケーションの共同研究をしていました。

盛岡市を基盤とした観光をメインとしたアプリケーションです。

震災後、北東北で今、必要な防災に研究テーマをシフトしました。

2013年度は学会発表を2度行い、久慈市からの意見も聞いた上で、ナビゲーションのシステムを大幅に変更し、現在に至っています。

2014年2月末まで本アプリケーションを公開し、多くの方々に試用してもらい、意見等を伺い、3月末までに修正を行う予定です。意見はアプリケーションのホーム画面のメール機能から簡易的に行うことが可能です。

今後の計画

前述の修正を行った後、久慈市の確認を経て iPhone 版の制作に着手します。修正は防災だけではなく、地域の方々にしか分からないような観光、食等の情報を充実させます。

また、JTB 東北が観光の側面からも本アプリケーションに非常に興味を示しており、試用してくれる可能性があります。

さらに、GPS 機能を活用し、津波前の街並が見ることが出来るコンテンツづくりについても岩手大学地域防災研究センターのプロジェクトとして取り入れたいと考えています。